

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-1 生涯を通じた学習と社会貢献活動の推進
---------	-------------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	社会教育課長 福岡 直	電話番号	0852-22-5910
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	生涯学習総合推進事業		
目的	(1) 対象	委員・関係課	
	(2) 意図	生涯学習社会をめざし、社会教育委員の会・生涯学習審議会の開催、生涯学習推進構想の策定など、生涯学習推進の体制を整備する。	
事業概要	・社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言してもらうため、社会教育委員の会議を開催する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 社会教育に対する助言等の場の確保	目標値		3.0	3.0	3.0	3.0	回
		取組目標値						
	式・定義 社会教育委員の会議の開催回数	実績値	3.0					
		達成率	—	—	—	—	—	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	—	—	—	—	—	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	536	712
うち一般財源(千円)	536	712

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例改正に伴い、学校教育関係者・社会教育関係者・家庭教育の活動に関わる者・学識経験者から12名の委員を委嘱した。</li> <li>・年3回の会議を開催し、県教育委員会より諮問を受けた『地域創生の実現に向け、「地域づくりを担う人」づくりを進める島根県の社会教育行政のあり方』について、答申作成に向けて幅広く意見をいただき、今後の社会教育行政の方向性を検討する上での参考となった。</li> <li>・社会教育関係団体への県からの補助金の交付について審議のうえ、適切な補助金交付となるように意見をいただいた。</li> </ul>
--

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年12月に県教育委員会へ提出された「ふるさと教育に関する提言」を受けて、ふるさと教育推進のための方向や方策を検討し、基本方針の見直しを行った。</li> <li>・平成26年度から、年2回開催が年3回開催となったことで、県社会教育行政の在り方についてより多くの意見をいただくことができた。</li> <li>・県社会教育行政の在り方について、社会教育委員の会に対して、県教育委員会から諮問を行った。</li> </ul>
--

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域の連携による地域教育力の向上などに対処するため、住民の意思反映の手段として設置されている社会教育委員の会の存在意義が県民に十分認知されていない。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員としての活動が少ない。</li> <li>・県教育委員会として社会教育委員に求めることが明確となっていない。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員の自覚と問題意識を高め、社会教育委員活動を活性化させる必要がある。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・答申の作成を通じて、社会教育委員の自覚と問題意識を高め、答申の内容を具現化するための社会教育委員の役割を明確化するなど、社会教育委員活動を活性化させる案を検討する。</li> </ul>
---

## 9. 追加評価(任意記載)

<p>・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。</p> <p>・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。</p>
---